

**宮城県での豚熱発生に係る  
防疫対策連絡会議  
(持ち回り開催)**

**開催日：令和3年12月27日（月）**

**出席：知事、副知事、危機管理局、  
生活環境部、農林水産部**

# 会議内容

- 1 豚熱の国内発生状況
- 2 宮城県の発生事例の概要
- 3 国の対応状況
- 4 鳥取県の対応状況
  - (1)宮城県の発生事例に対する鳥取県の対応
  - (2)今後の豚熱防疫体制
- 5 お願い

# 豚熱の国内発生状況

- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和3年1月にかけて岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県及び和歌山県で発生。今年3月以降も、奈良県、三重県、栃木県(2例)、神奈川県、山梨県(2例)、滋賀県、群馬県(4例)、宮城県のいずれもワクチン接種農場で発生。  
今回の宮城県での発生は12月12日に続き2例目。
- 2 野生いのししの感染は25都府県で確認。隣県の兵庫県では、令和3年3月16日に丹波市の死亡いのしし2頭で初確認し、12月22日まで71頭の陽性を確認。



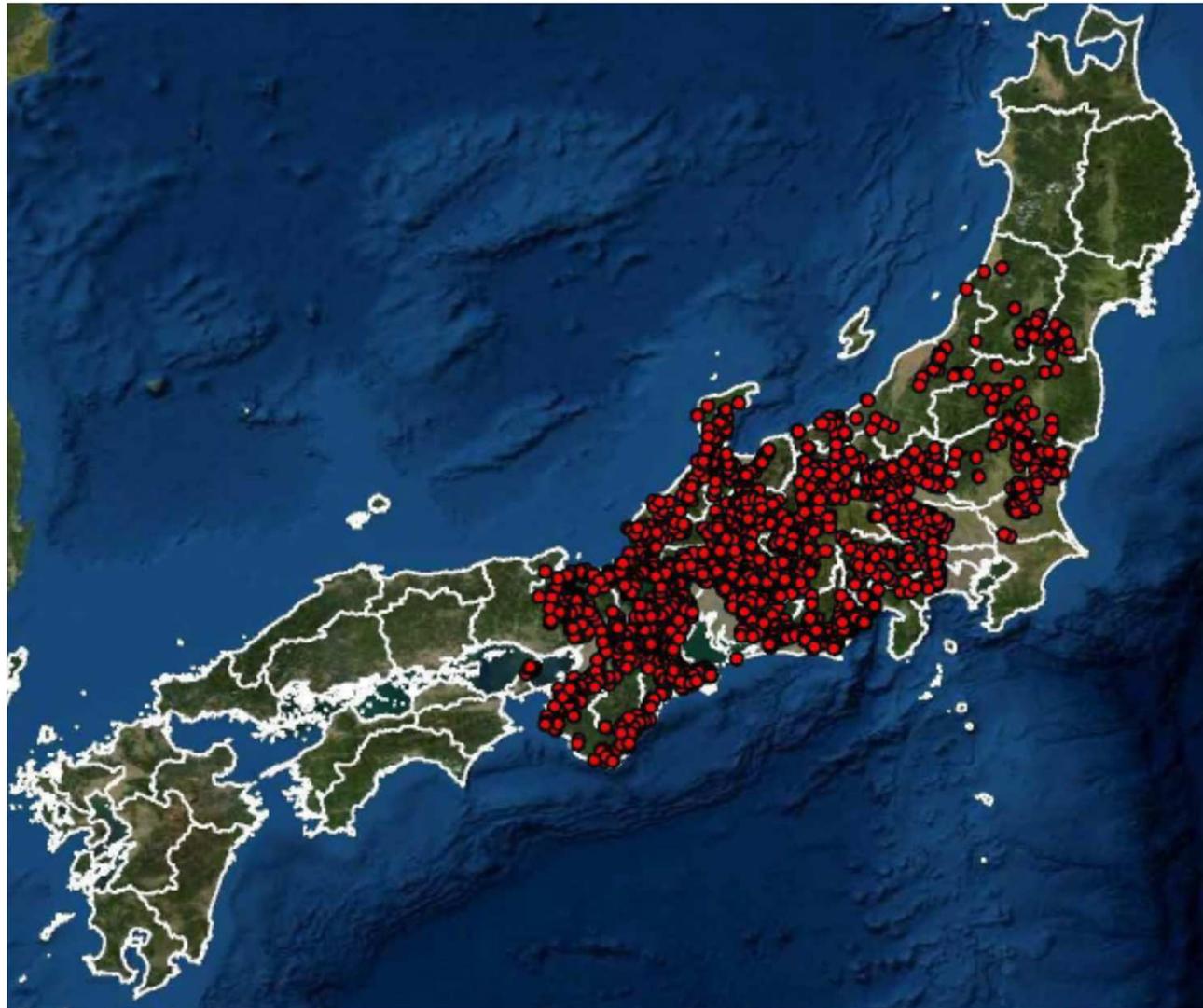
# 豚熱の国内発生状況(飼養豚)

No.	発生地	畜種	発生日	飼養羽数	防疫措置完了日	その他
1~63	岐阜、愛知、長野、三重、福井、埼玉、山梨、沖縄、群馬、山形、和歌山、奈良	豚、いのしし	H30.9.9~ R3.3.31	154,046頭		
64	群馬県前橋市	豚	R3.4.2	9,970頭	R3.4.16	(関連1農場含)
65	三重県津市	豚	R3.4.14	10,842頭	R3.4.23	
66	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	17,266頭	R3.5.17	
67	栃木県那須塩原市	豚	R3.4.17	22,096頭	R3.5.17	
68	山梨県中央市	豚	R3.5.11	2,642頭	R3.5.14	
69	神奈川県相模原市	豚	R3.7.8	4,328頭	R3.7.21	(関連1農場含)
70	山梨県道志村	豚	R3.8.6	1,693頭	R3.8.11	
71	群馬県桐生市	豚	R3.8.7	6,068頭	R3.8.26	
72	滋賀県近江八幡市	豚	R3.10.6	1,424頭	R3.10.10	
73	群馬県前橋市	豚	R3.10.19	3,940頭	R3.11.1	(関連1農場含)
74	群馬県桐生市	豚	R3.11.26	2,632頭	R3.12.3	
75	宮城県大河原町	豚	R3.12.12	10,386頭	R3.12.18	(関連1農場 2,191頭)
<b>76</b>	<b>宮城県丸森町(まるもりまち)</b>	<b>豚</b>	<b>R3.12.25</b>	<b>7,000頭</b>	<b>関連農場 11県26農場 (疑似患畜900頭)</b>	

# 豚熱の国内発生状況(野生いのしし)

野生いのししでの検出状況(令和3年12月22日時点農水省調べ)

- ・陽性例は**25**都府県で確認(**4,322**頭)



# 宮城県の発生事例の概要

## 1 農場の概要(国内76例目)

場所:宮城県丸森町(まるもりまち)

飼養状況:繁殖肥育一貫経営 7,000 頭

疫学関連農場:11県26農場

岩手県(1農場)、宮城県(1農場)、山形県(2農場)、茨城県(6農場)、栃木県(2農場)、群馬県(2農場)、埼玉県(2農場)、千葉県(6農場)、神奈川県(1農場)、静岡県(2農場)、愛知県(1農場)

農場で飼養する豚のうち、発生農場から移動した豚や、発生農場の豚から採取された精液を用いて人工授精を行った豚(合計約900頭)が対象。

(これら11県はいずれも豚熱ワクチン接種済)

## 2 経過

- ・12月24日(金):農場から、異状(呼吸器症状、下痢、発熱)が見られるとの通報を受け、宮城県が当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施し、豚熱の疑いが判明。
- ・12月25日(土):19時、国の精密検査で豚熱の患畜を確認。

## 3 宮城県の対応

- ・12月25日(土):殺処分開始
- ・12月31日(金):防疫措置完了予定
- ・豚熱ワクチン接種区域のため、移動制限及び搬出制限無し

# 国の対応状況

## ■ 12月25日(土)

- ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の持ち回り開催
- ・全都道府県へ情報提供
- ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- ・宮城県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

## ■ 国の野生いのしし対策

- ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
- ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- ・経口ワクチン散布を鳥取県を含む24都府県で実施

# 宮城県の発生事例に対する鳥取県の対応

- 1 発生情報の周知と注意喚起 (市町村、養豚農場、農協等関係機関) (12/25)
- 2 県内養豚農場の状況確認 (12/27)
  - ・県内20農場に異常の有無等を電話聞取り
  - ⇒ 異常なし、宮城県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
  - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう点検・指導中
- 4 大雪への注意喚起  
大雪に備えた畜舎、侵入防止柵の補強と、降雪後の畜舎等の破損や野生動物侵入防止対策の点検を呼びかけ

# 今後の豚熱防疫体制(飼養豚)

- 1 飼養豚、いのししへの豚熱ワクチン接種等
  - ・4/5(月)~4/23(金)に初回一斉接種済(約5万頭)
  - ・繁殖豚等への補強接種及び生まれてくる子豚、導入豚への追加接種を実施中(5/6~12/28で約6万8千頭接種予定)
- 2 ワクチン接種農場の抗体モニタリング(実施中)  
(前回)初回検査対象15農場407頭検査を行い、401頭(98.5%)  
でワクチンによる抗体陽性を確認。
- 3 ワクチン接種体制強化
  - ・県職員獣医師だけでなく民間獣医師(知事認定獣医師)による接種開始(8/16~12/28で2名が約8,000頭接種予定)
- 4 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
  - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導



# 経口ワクチン散布1回目の野生いのししの摂取状況

区分	実施期間	実施地域
餌付け	9/27～10/8	鳥取市国府町 岩美町
散布	10/28～10/22	八頭町 若桜町
回収	10/20～11/2	智頭町

## 経口ワクチンの散布・回収実績

- ・散布回数 4,800回
- ・回収不能、採食跡有など 4,002回



いのししによるワクチン摂食の様子



一部地域で熊による経口ワクチンの摂食を確認

2回目の回収後(血液抗体が上昇し確認できるようになる12月以降)、散布地周辺で捕獲された野生いのししの血液を調査し、経口ワクチンによる抗体保有状況を確認中。**令和4年度も国事業を活用し、実施予定。**

# 豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

## ■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	( // )
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	( // )

## ■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	(休日、夜間)

## ■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	(夜間休日 0857-26-7111)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3275	(夜間休日 0858-22-8141)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320	(夜間休日 0859-34-6211)

## ■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

# お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。